

# 一般質問

質問

地震発生から被害者の皆さま



あきら 明  
すがわら 菅原  
議員

被害者救済と災害復興対策について

ます。  
**市長** 機会あるごとに情報交換を行っており、今後も連携を図りながら強力に国・県へ要望してまいります。  
**質問** 市長のトップセールスについて伺います。  
**市長** 先般、「へこたれませんでした奥州市」のキャッチフレーズのもと、PR活動を実施したところであり、今後も積極的に実施してまいります。  
**質問** 震災からの復興を目指している今こそ、奥州大使のご協力をいただくべきと考えますが、どのように思われるか伺います。  
**市長** 大使のひとりであります清水寺の森清範貫主から、書のご寄贈、他の大使からふるさと納税・義援金等ご支援を賜っております。また、奥州市に関する情報の発信、PR、市の発展に資する情報の提供、ご助言を今後お願いしたいと考えております。



いしゅう 石生地区（衣川区）に設置された仮設住宅

んの中には、今なお、仮設住宅や生活支援センターなどで生活されている方もおられ、復旧事業もこれからです。義援金等の活用とあわせ、今後の対応策について伺います。  
**市長** 被災された方々への救済措置については、全国から寄せられた義援金の活用を実施してまいります。人的及び住家被害への配分、農林産物被害への見舞金、避難者への見舞金、被災宅、宅地復旧支援金などは、災害義援金配分委員会決定されております。避難者への支援については、これまでに避難所の提供を経て、応急仮設住宅等に入居いただいたことで、安定した生活場所は確保されたところであり、今後は、一日も早く日常の生活に戻ることが出来る

**質問** 水沢区は奥州市5区中、認定市道延長は第3位です。しかし道路改良率では最下位です。水沢区は市役所本庁舎、県の出先機関ほか公の施設が集中的に存在していることもあって、他区に比較し交通量が多く、通学路や生活道路で、子供や老人の事故すれすれの状況が日常的に発生しております。このような中心地区の道路改良の立ち遅れは副県都を目指す奥州市



うちだ かずよし  
内田 和良  
議員

遅れている水沢区の市道整備について  
○父母学講座の実施について

よう相談を行ないながら、支援を行なっていきます。  
**質問** 胆沢区・衣川区を中心に、公共施設に大きな被害が発生しました。これまでの対応と今後の対応策について伺います。  
**教育委員長** 今度の被災により、現在、使用禁止措置をとっている施設もありますが、早期復興に向けて実施計画を組み、工事を着手してまいります。人的被害の想定される対策として、落下防止対策等を行ってまいります。



歩道整備が望まれる未整備の通学路（水沢小学校付近）

の都市政策の立ち遅れとも映ることから、今後の水沢区の市道整備についての取り組み方を伺います。  
**市長** 市道整備は基本計画に沿って進めてまいります。しかし通学路など状況によって早く取り組みたいところは、取り組んでまいりたいと思います。  
**質問** 全国的に青少年による尊属殺人事件や無差別殺人事件が頻発しています。幼少期の愛情不足や親の過度の期待などから心が育たぬまま成長し、体力が親をしのぐ頃に事件は発生していると報道されております。核家族の中で両親とも忙しく、家庭に心を育てる力が無くなっているケースが心配されています。今市民の中から、行政による年齢に応じた父母学講座のようなものの実施を望む声があり